

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

滋賀県 地域セミナー 報告書

2018（平成30）年7月13日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」滋賀県地域セミナーが開催されました。本会では、推進校の先生方を対象に、事業説明や各推進校の事業計画書に合わせた実践事例の紹介などが行われました。

当日は、滋賀県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方10名（小学校2名、中学校2名、高等学校1名、特別支援学校5名）にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成30）年7月13日（金）14時00分～16時30分

会場：滋賀県大津合同庁舎 6-D

主催：滋賀県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：10名

プログラム：

13:50～13:55 開会の挨拶

滋賀県教育委員会事務局保健体育課参事 兼 学校体育係 課長 樋口 康之 氏

13:55～14:20 オリンピック・パラリンピックについて

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長 深見 英一郎 氏

14:20～14:50 事業説明

滋賀県教育委員会事務局保健体育課 主査 奥村 源 氏

14:50～15:00 休憩

15:00～15:40 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の指導法について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

15:40～16:25 情報交換

16:25～16:30 諸連絡 及び 閉会の挨拶

滋賀県教育委員会事務局保健体育課 主査 奥村 源 氏

最初に、滋賀県教育委員会事務局保健体育課参事兼学校体育係課長の樋口康之氏より、開会の挨拶がありました。滋賀県は、本事業を通して、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に留まらず、2024年に開催予定の国体までをも視野にいれ、運動・スポーツへの興味や関心を高めていきたい、とのことでした。

次に、本センター副センター長の深見英一郎より、事業概要に関して、特に、本事業のこれまでの取り組みや実態に関しての説明がありました。



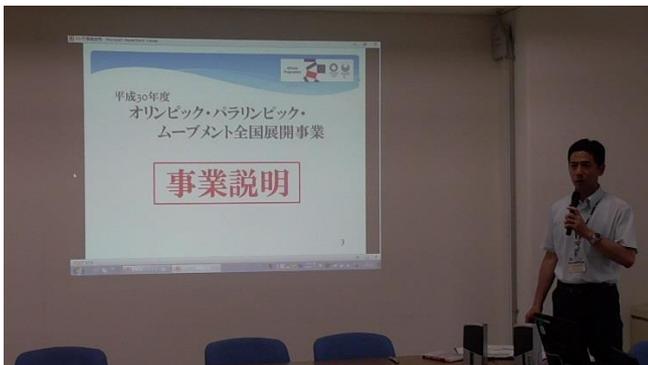
樋口 康之 氏



深見 英一郎 副センター長

続いて、滋賀県教育委員会事務局保健体育課主査の奥村源氏より、本事業に関する滋賀県の取り組みの方向性について説明がありました。具体的には、滋賀県の本事業の三つの柱である、小学校・中学校・高等学校へのアスリート招聘事業、特別支援学校における運動機会の充実促進事業、そして小学校における体育の時間や休み時間を活用したチャレンジランキングについて、それぞれ詳細な説明がありました。

さらに本センター研究員の岡田悠佑から、これまでの本事業における実践例及びオリンピック・パラリンピック教育関連の教材について、写真を提示しながら、詳細な説明がありました。



奥村 源 氏



岡田 悠佑 研究員

最後に、推進校の先生方を校種ごとに分けて、グループワークが行われました。各グループでは、事業計画について情報共有をしていただくとともに、既存の教育課程の中にオリンピック・パラリンピック教育を組み込んでいく方法や、少人数や道具の不足した状況で取り組めるオリンピック・パラリンピック教育の方法などについて質疑応答が行われました。また、各校においてオリンピック・パラリンピック教育を実施する際の相談窓口として、学校間や学校内の教員間の連携、さらには教育委員会及び本センターと各推進校の連携の必要性についても意見が出ました。



グループワークの様子①



グループワークの様子②